

Ⅱ 作物別作付（栽培）面積

1 水陸稲（子実用）

(1) 水稲

平成28年産水稲（子実用）の作付面積は147万8,000haで、前年産に比べ2万7,000ha（2%）減少した（表7）。

作付面積の動向をみると、昭和44年の317万3,000haを最高に、昭和45年以降は生産過剰基調となった米の需給均衡を図るための生産調整が実施されたこと等から、減少傾向で推移している（図4）。

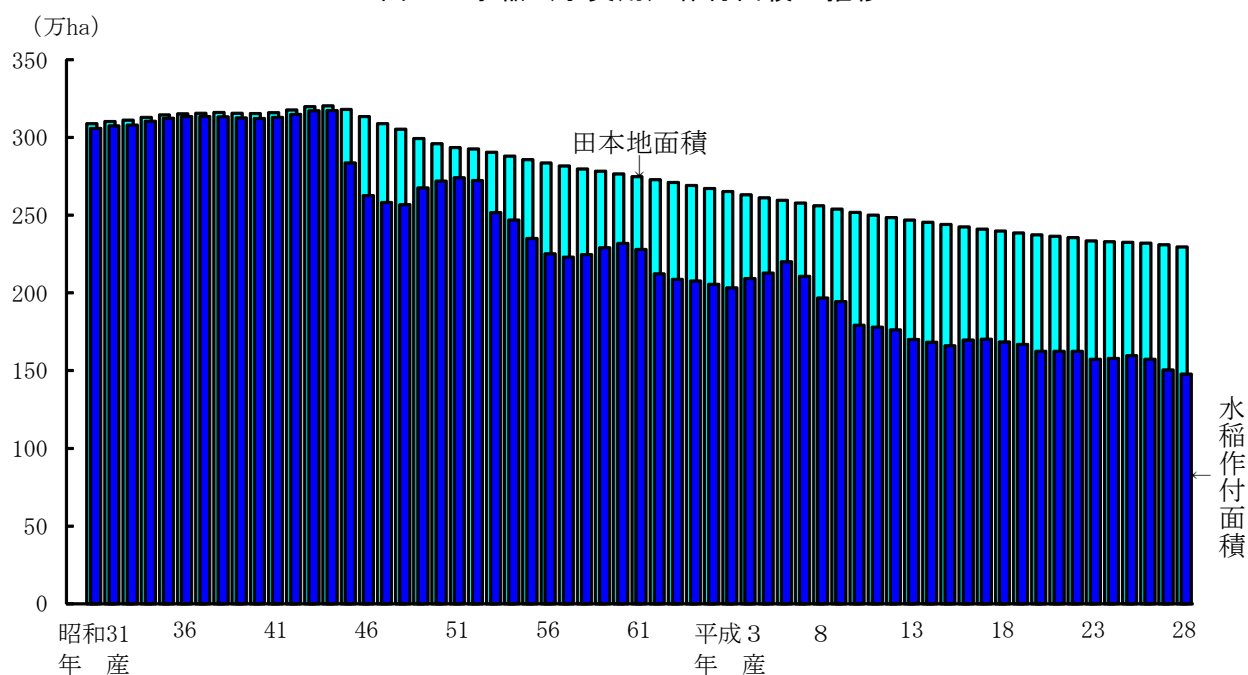
(2) 陸稲

平成28年産陸稲（子実用）の作付面積は944haで、前年産に比べ216ha（19%）減少した（表7）。

表7 平成28年産水陸稲（子実用）作付面積（全国農業地域別）

全 国 農 業 地 域	水陸稲計			水 稲			陸 稲		
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	1,479,000	△27,000	98	1,478,000	△27,000	98	944	△ 216	81
北 海 道	105,000	△ 2,800	97	105,000	△ 2,800	97	-	-	nc
都 府 県	1,374,000	△24,000	98	1,373,000	△24,000	98	944	△ 216	81
東 北	375,900	△ 5,400	99	375,900	△ 5,400	99	5	x	x
北 陸	205,600	△ 2,200	99	205,600	△ 2,200	99	2	△ 1	67
関 東・東 山	271,500	△ 4,800	98	270,500	△ 4,600	98	932	△ 218	81
東 海	93,400	△ 1,800	98	93,400	△ 1,800	98	1	x	x
近 畿	104,500	△ 1,300	99	104,500	△ 1,300	99	-	-	nc
中 国	106,000	△ 2,100	98	106,000	△ 2,100	98	-	-	nc
四 国	50,900	△ 1,200	98	50,900	△ 1,200	98	-	-	nc
九 州	165,700	△ 5,000	97	165,700	△ 5,000	97	4	x	x
沖 縄	785	△ 3	100	785	△ 3	100	-	-	nc

図4 水稲（子実用）作付面積の推移



2 麦類（子実用）

(1) 4麦計

平成28年産4麦（子実用）の作付面積は27万5,900haで、前年産に比べ1,500ha（1%）増加した（表8）。

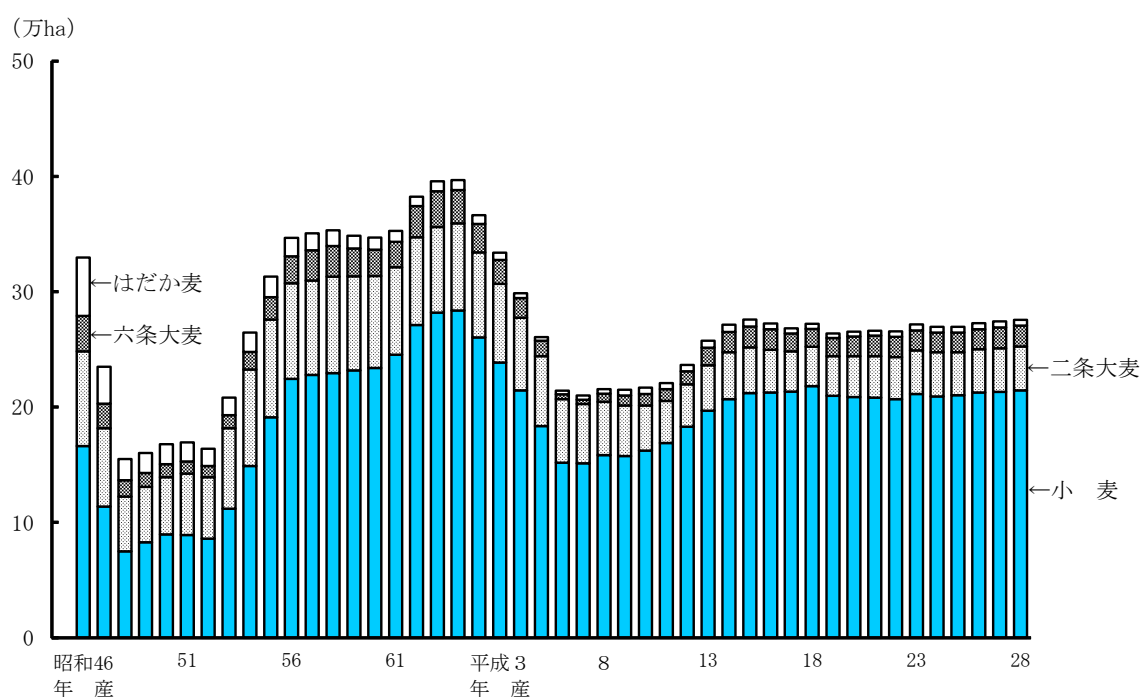
麦種別には、小麦は前年産に比べ1,300ha（1%）、二条大麦は300ha（1%）それぞれ増加し、六条大麦は前年産並み、はだか麦は210ha（4%）減少した。

作付面積の動向をみると、作付農家数の減少、水田裏作の減少等により昭和48年に15万4,800haと過去最低となった。その後、麦の生産振興策が講じられたこと、米の転作作物として田作小麦が増加したこと等により、平成元年には39万6,700haとなった。平成2年以降は水田裏作の減少等により再び減少し、平成7年には21万200haとなった。平成8年以降は米の需給調整対策の推進等に伴い再び増加傾向で推移したが、平成14年以降はほぼ横ばいとなっている（図5）。

表8 平成28年産4麦（子実用）作付面積（田畑別）

区 分	計			田			畑		
	作 付 積	前年産との比較		作 付 積	前年産との比較		作 付 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
4 麦 計	275,900	1,500	101	173,200	1,900	101	102,600	△ 500	100
小 麦	214,400	1,300	101	117,000	1,900	102	97,400	△ 600	99
二条大麦	38,200	300	101	35,000	200	101	3,240	110	104
六条大麦	18,200	0	100	16,500	100	101	1,790	△ 30	98
はだか麦	4,990	△ 210	96	4,820	△ 240	95	169	28	120

図5 4麦（子実用）作付面積の推移



(2) 麦種別作付面積

ア 小麦

小麦の作付面積は21万4,400haで、前年産に比べ1,300ha（1%）増加した。

このうち、北海道は12万2,900haで、前年産並みとなった。

一方、都府県は9万1,500haで、他作物等からの転換等があったことにより、前年産に比べ1,000ha（1%）増加した（表9）。

イ 二条大麦

二条大麦の作付面積は3万8,200haで、九州地域において作付けが増加したこと等により、前年産に比べ300ha（1%）増加した（表9）。

ウ 六条大麦

六条大麦の作付面積は1万8,200haで、前年産並みとなった（表9）。

エ はだか麦

はだか麦の作付面積は4,990haで、小麦等へ転換されたこと等から、前年産に比べ210ha（4%）減少した（表9）。

表9 平成28年産4麦（子実用）作付面積（全国農業地域別）

全国 農業地域	4麦計			小麦			二条大麦			六条大麦			はだか麦		
	作付 面積	前年産との比較		作付 面積	前年産との比較		作付 面積	前年産との比較		作付 面積	前年産との比較		作付 面積	前年産との比較	
		対差	対比		対差	対比		対差	対比		対差	対比		対差	対比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	275,900	1,500	101	214,400	1,300	101	38,200	300	101	18,200	0	100	4,990	△ 210	96
北 海 道	124,600	400	100	122,900	300	100	1,690	50	103	-	-	nc	19	7	158
都 府 県	151,300	1,200	101	91,500	1,000	101	36,500	200	101	18,200	0	100	4,970	△ 210	96
東 北	8,120	△ 120	99	6,940	△ 100	99	4	x	x	1,180	△ 20	98	x	x	x
北 陸	10,600	200	102	313	131	172	7	1	117	10,300	100	101	-	-	nc
関 東・東 山	38,400	0	100	21,000	200	101	12,400	0	100	5,080	△ 60	99	55	5	110
東 海	16,700	200	101	16,000	100	101	6	△ 3	67	665	24	104	2	0	100
近 畿	10,600	0	100	9,350	△ 80	99	158	△ 15	91	945	x	x	x	x	x
中 国	5,600	190	104	2,210	190	109	2,840	10	100	x	x	x	464	10	102
四 国	4,590	10	100	1,920	60	103	x	x	x	-	-	nc	2,640	△ 60	98
九 州	56,600	600	101	33,800	500	102	21,200	400	102	x	x	x	1,670	△ 180	90
沖 縄	27	14	208	27	14	208	-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc

3 かんしょ

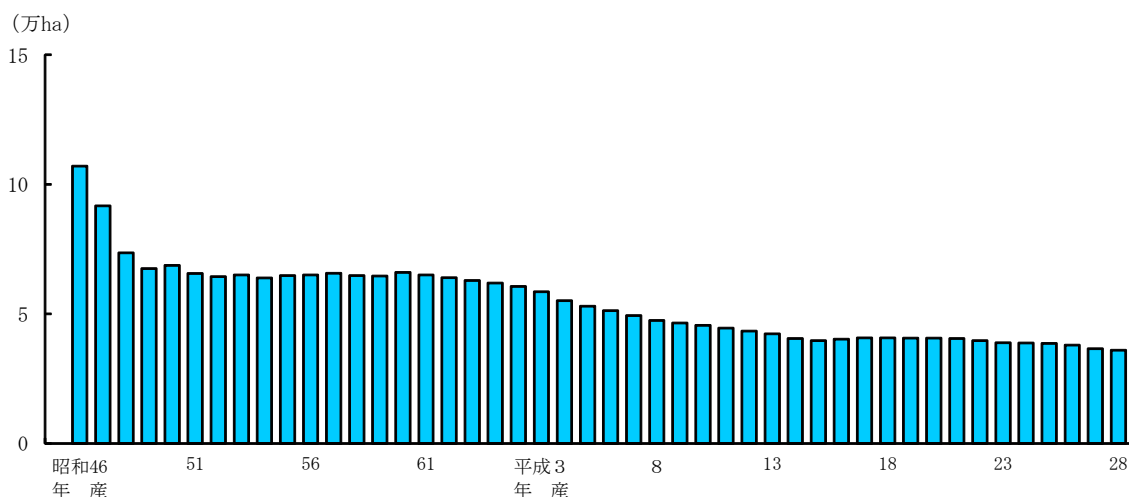
平成28年産かんしょの作付面積は3万6,000haで、前年産に比べ600ha（2%）減少した（表10）。

作付面積の動向をみると、昭和50年以降は漸減傾向で推移している（図6）。

表10 平成28年産かんしょ作付面積（全国農業地域別）

全 国 農 業 地 域	計			田			畑		
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	36,000	△ 600	98	2,690	△ 20	99	33,300	△ 600	98
北 海 道	19	3	119	5	0	100	14	3	127
都 府 県	36,000	△ 500	99	2,690	△ 20	99	33,300	△ 500	99
東 北	207	△ 2	99	30	2	107	177	△ 4	98
北 陸	685	△ 1	100	95	6	107	590	△ 7	99
関 東・東 山	12,200	△ 100	99	357	4	101	11,900	△ 100	99
東 海	1,470	△ 80	95	90	△ 2	98	1,380	△ 80	95
近 畿	735	△ 31	96	378	△ 13	97	357	△ 18	95
中 国	827	△ 28	97	165	△ 9	95	662	△ 19	97
四 国	1,970	△ 30	99	245	△ 8	97	1,720	△ 20	99
九 州	17,600	△ 300	98	1,320	△ 10	99	16,200	△ 400	98
沖 縄	294	31	112	2	0	100	292	31	112

図6 かんしょ作付面積の推移



4 そば（乾燥子実）

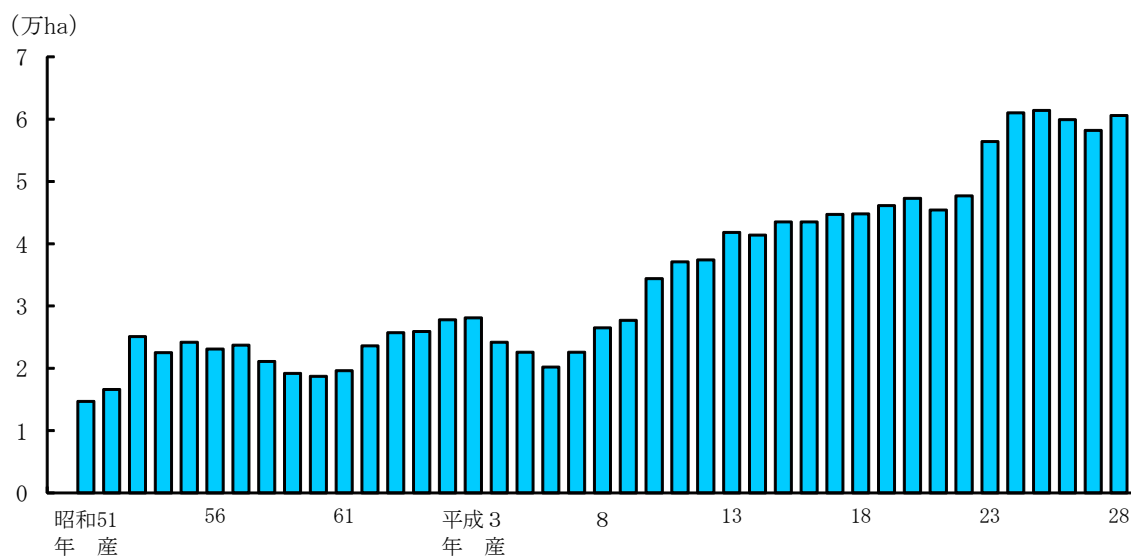
平成28年産そばの作付面積は6万600haで、前年産に比べ2,400ha（4%）増加した（表11）。

作付面積の動向をみると、昭和61年以降増加傾向で推移した後、米の生産調整目標面積の緩和措置等により平成4年から平成6年までは減少した。平成7年以降は米の需給調整対策の推進等により再び増加傾向で推移しているが、平成26年及び平成27年は減少した（図7）。

表11 平成28年産そば（乾燥子実）作付面積（全国農業地域別）

全 国 農 業 地 域	計			田			畑			
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比	
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%	
全 国	60,600	2,400	104	37,500	1,400	104	23,100	900	104	
北 海 道	21,500	700	103	8,690	120	101	12,800	500	104	
都 府 県	39,000	1,600	104	28,800	1,300	105	10,300	410	104	
東 北	16,400	1,000	106	12,700	700	106	3,690	290	109	
北 陸	6,160	80	101	5,590	50	101	569	24	104	
関 東・東 山	10,500	400	104	5,800	300	105	4,700	130	103	
東 海	547	△	26	455	△	12	92	△	14	87
近 畿	927		93	x	x	x	x	x	x	
中 国	1,680		30	1,440	20	101	239	12	105	
四 国	145	△	6	78	0	100	67	△	6	92
九 州	2,590		50	1,780	120	107	809	x	x	
沖 縄	61		9	-	-	nc	61	9	117	

図7 そば（乾燥子実）作付面積の推移



5 豆類（乾燥子実）

(1) 大豆

平成28年産大豆の作付面積は15万haで、水稻、小豆等からの転換により、前年産に比べ8,000ha（6%）増加した（表12）。

作付面積の動向をみると、外国産大豆の輸入の増加により減少傾向で推移していたが、昭和53年から米の転作作物として田作大豆を中心に増加した。その後、昭和63年以降は減少傾向で推移し、平成6年には過去最低の6万900haとなった。平成7年から平成15年までは米の需給調整対策の推進等から再び増加傾向で推移していたが、平成16年以降は上下動のある動きとなっている（図8）。

(2) 小豆

平成28年産小豆の作付面積は2万1,300haで、前年産に比べ6,000ha（22%）減少した（表12）。

このうち、北海道における作付面積は1万6,200ha（全国の約8割）で、大豆等への転換等により、前年産に比べ5,700ha（26%）減少した。

(3) いんげん

平成28年産いんげんの作付面積は8,560haで、前年産に比べ1,640ha（16%）減少した（表12）。

このうち、北海道における作付面積は7,940ha（全国の約9割）で、大豆等への転換等により、前年産に比べ1,610ha（17%）減少した。

(4) らっかせい

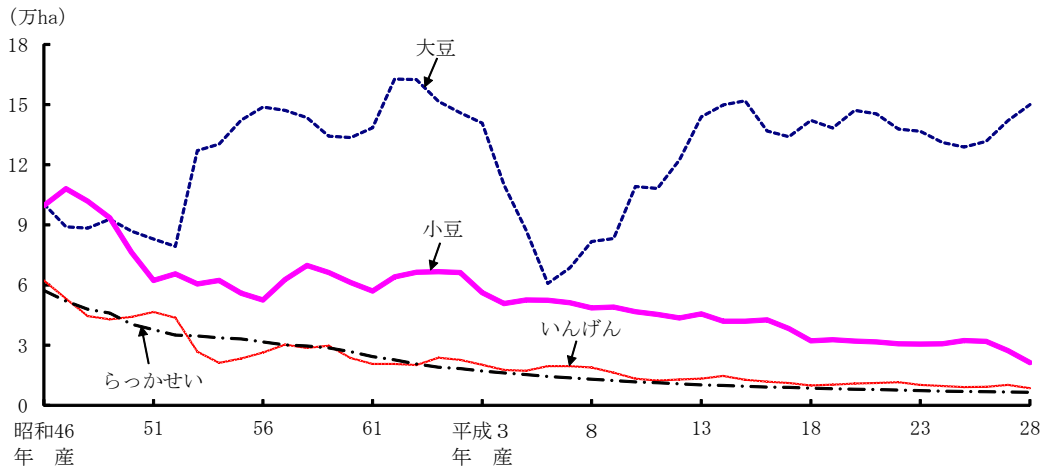
平成28年産らっかせいの作付面積は6,550haで、前年産に比べ150ha（2%）減少した（表12）。

このうち、千葉県の前年産の作付面積は5,170ha（全国の約8割）で、前年産に比べ70ha（1%）減少した。

表12 平成28年産豆類（乾燥子実）作付面積（全国農業地域別）

全 国 農 業 地 域	大 豆			小 豆			いんげん			らっかせい		
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	150,000	8,000	106	21,300	△6,000	78	8,560	△1,640	84	6,550	△ 150	98
北 海 道	40,200	6,300	119	16,200	△5,700	74	7,940	△1,610	83	-	-	nc
都 府 県	109,900	1,800	102	5,060	△ 350	94	624	△ 65	91	6,550	△ 150	98
東 北	35,900	1,300	104	1,070	△ 180	86	82	△ 29	74	10	x	x
北 陸	13,400	100	101	340	△ 16	96	84	△ 2	98	28	0	100
関 東・東 山	10,700	100	101	x	x	x	440	△ 27	94	6,140	△ 130	98
東 海	12,200	0	100	124	△ 5	96	2	△ 2	50	87	△ 8	92
近 畿	9,840	0	100	1,270	0	100	4	0	100	6	0	100
中 国	4,890	△ 110	98	785	△ 29	96	8	△ 4	67	12	△ 1	92
四 国	588	△ 11	98	98	△ 8	92	4	0	100	16	0	100
九 州	22,200	300	101	379	△ 37	91	0	△ 1	0	242	△ 11	96
沖 縄	1	0	100	-	-	nc	-	-	nc	7	0	100

図8 豆類（乾燥子実）作付面積の推移



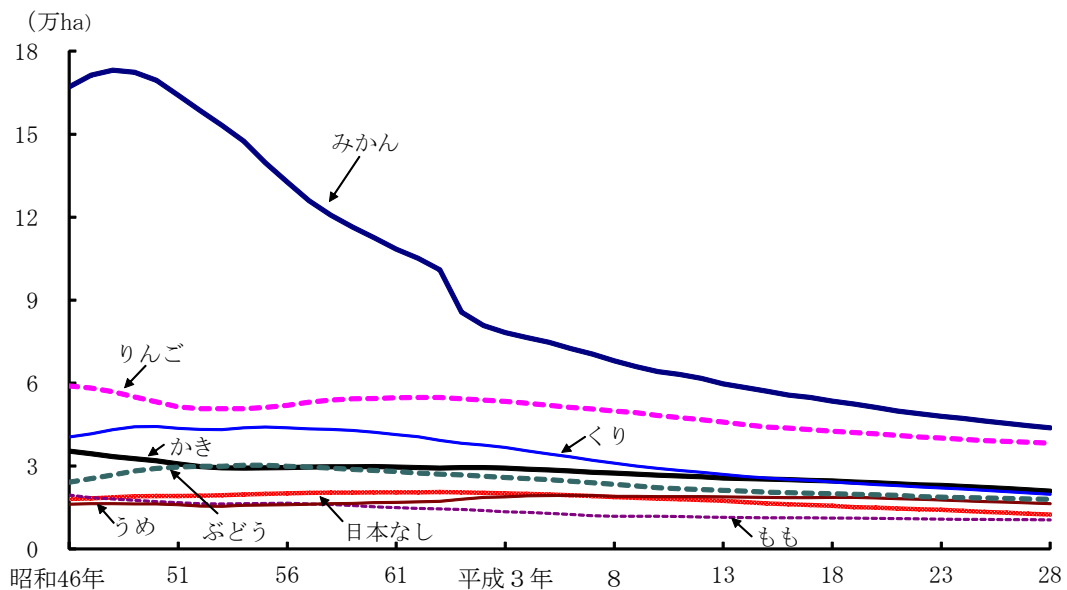
6 果樹

平成28年果樹の主な品目別の栽培面積は、みかんは4万3,800ha、りんごは3万8,300ha、かきは2万900ha、くりは1万9,800haで、それぞれ前年に比べ800ha（2%）、300ha（1%）、500ha（2%）、500ha（2%）減少した（表13）。

表13 平成28年果樹栽培面積

区分	栽培面積	前年との比較		区分	栽培面積	前年との比較	
		対差	対比			対差	対比
	ha	ha	%		ha	ha	%
みかん	43,800	△ 800	98	すもも	3,010	△ 40	99
その他かんきつ類	26,300	△ 400	99	おうとう	4,740	△ 80	98
りんご	38,300	△ 300	99	うめ	16,400	△ 300	98
日本なし	12,500	△ 300	98	ぶどう	18,000	△ 100	99
西洋なし	1,570	△ 10	99	くり	19,800	△ 500	98
かき	20,900	△ 500	98	パイナップル	540	10	102
びわ	1,360	△ 80	94	キウイフルーツ	2,130	△ 50	98
もも	10,500	△ 100	99				

図9 主要果樹の栽培面積の推移



7 茶

平成28年茶の栽培面積は4万3,100haで、前年に比べ900ha（2%）減少した（表14）。

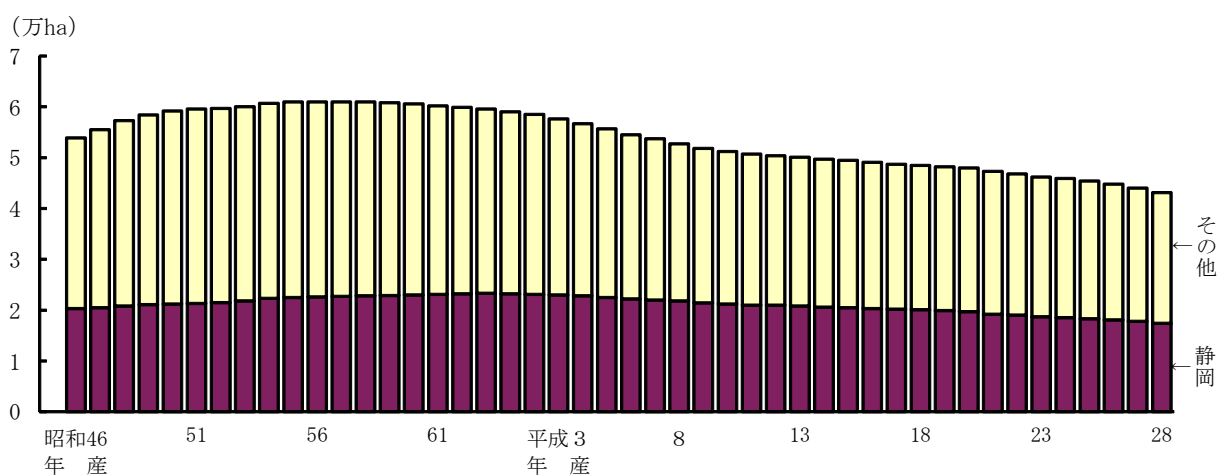
栽培面積の動向をみると、昭和50年代半ばまでは増加傾向で推移していたものの、それ以降は漸減傾向で推移している。

なお、主産地である静岡県においても、近年全国と同様に漸減傾向で推移している（図10）。

表14 平成28年茶栽培面積

区 分	栽培面積	前年との比較	
		対 差	対 比
	ha	ha	%
茶	43,100	△ 900	98

図10 茶栽培面積の推移



8 飼肥料作物

(1) 飼肥料作物の作付（栽培）面積

平成28年産飼肥料作物の作付（栽培）面積は108万2,000haで、前年産に比べ1万ha（1%）増加した（表15）。

(2) 飼肥料作物のうち飼料用の作付（栽培）面積

平成28年産飼肥料作物のうち飼料用の作付（栽培）面積は98万8,400haで、前年産に比べ1万3,200ha（1%）増加した（表15）。

ア 牧草

牧草の作付（栽培）面積は73万5,200haで、前年産に比べ2,400ha減少したものの前年産並みとなった。

イ 青刈りとうもろこし

青刈りとうもろこしの作付面積は9万3,400haで、前年産に比べ1,000ha（1%）増加した。

ウ ソルゴー

ソルゴーの作付面積は1万4,800haで、前年産に比べ400ha（3%）減少した。

エ 青刈り麦類

青刈り麦類の作付面積は9,690haで、前年産に比べ540ha（6%）増加した。

オ その他青刈り作物（WCS用稲等）

その他青刈り作物の作付面積は4万3,800haで、前年産に比べ3,300ha（8%）増加した。

これは、主にWCS用稲の作付けが増加したためである。

カ その他飼肥料作物（飼料用米等）

その他飼肥料作物の作付（栽培）面積は9万1,600haで、前年産に比べ1万1,400ha（14%）増加した。

これは、主に飼料用米の作付けが増加したためである。

表15 平成28年産飼肥料作物作付（栽培）面積

区 分	計			飼料用		
	作付（栽培） 面積	前年産との比較		作付（栽培） 面積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%
飼 肥 料 作 物 計	1,082,000	10,000	101	988,400	13,200	101
牧 草	744,200	△ 3,000	100	735,200	△ 2,400	100
青刈りとうもろこし	94,100	1,100	101	93,400	1,000	101
ソ ル ゴ ー	25,400	△ 800	97	14,800	△ 400	97
青 刈 り 麦 類	59,500	△ 700	99	9,690	540	106
そ の 他 青 刈 り 作 物	45,100	3,200	108	43,800	3,000	108
れ ん げ	10,900	△ 600	95	48	△ 1	98
そ の 他 飼 肥 料 作 物	102,400	10,000	111	91,600	11,400	114

図11 飼肥料作物作付（栽培）面積の推移

